

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	サカイ タカフミ 坂井 貴文 <令和2年4月>		博士 (医学)		埼玉大学 学長 (令和2年4月～令和8年3月)

教 員 の 氏 名 等													
(人文社会科学研究科ダイバーシティ科学専攻)													
調書 番号	教員 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目 の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 研究科等の 職務に従事 する 週当たり平 均 日 数
1	専	教授	タシロ ミエコ 田代 美江子 <令和8年4月>		文学修士 ※		現代的課題と人権 多様性教育論※ ダイバーシティ人間形成論Ⅰ※ ダイバーシティ人間形成論Ⅱ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1①～② 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 0.5 1 0.7 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院教授 教育学部担当 (平19.4)	5日	
2	専	教授	キタダ ヨシコ 北田 佳子 <令和8年4月>		修士 (教育学) ※		現代的課題と人権 社会調査法C (フィールド調査) ダイバーシティリーダーシップⅠ ダイバーシティリーダーシップⅡ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 1 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院教授 教育学部担当 (平24.10)	5日	
3	専	教授	ワタナベダイスケ 渡辺 大輔 <令和8年4月>		博士 (教育学)		現代的課題と人権 インターセクショナリティ論 クア理論 多様性教育論※ ダイバーシティ人間形成論Ⅰ※ ダイバーシティ人間形成論Ⅱ※ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1①～② 1①～② 1①～② 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 1 1 1.5 1 1 1.3 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院准教授 ダイバーシティ推進センター担当 (平26.4)	5日	
4	専	准教授	セヤマ ノリコ 瀬山 紀子 <令和8年4月>		修士 (社会科学) ※		現代的課題と人権 障害学 防災・災害学とグローバルジャスティス※ ダイバーシティ政策科学Ⅰ ダイバーシティ政策科学Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 1 1 1 1 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院准教授 ダイバーシティ推進センター担当 (令4.6)	5日	
5	専	准教授	オカムラリエ 岡村 利恵 <令和8年4月>		博士 (社会科学)		現代的課題と人権 ダイバーシティマネジメント論 社会調査法B (統計) ダイバーシティリーダーシップ論Ⅰ ダイバーシティリーダーシップ論Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1③～④ 1③～④ 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 2 1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院准教授 ダイバーシティ推進センター担当 (令5.12)	5日	
6	専	准教授	ツシマ カリ 對馬 果莉 <令和8年4月>		博士 (アメリカ研 究)		現代的課題と人権 クア論 社会正義と排除と政治論 社会福祉とウェルビーイング ダイバーシティ政策科学Ⅰ ダイバーシティ政策科学Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1①～② 1①～② 1①～② 1①～② 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院准教授 ダイバーシティ推進センター担当 (令7.4)	5日	
7	その他	教授	カナイ チョウギ 金井 (千代崎) 郁 <令和8年4月>		博士 (国際協力学)		フェミニスト経済学【隔年】 労働とジェンダー【隔年】	1・2③～④ 1・2③～④	2 2	1 1	1 1	埼玉大学学術院教授 大学院人文社会科学研究科 担当 (平21.4)	
8	その他	教授	アラキ ユウジ 荒木 祐二 <令和8年4月>		博士 (環境学)		生物多様性とネイチャーポジティブ バイオダイバーシティ論Ⅰ バイオダイバーシティ論Ⅱ 課題研究演習Ⅰ 課題研究演習Ⅱ 課題研究演習Ⅲ 課題研究演習Ⅳ	1③～④ 2①～② 2③～④ 1①～② 1③～④ 2①～② 2③～④	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	埼玉大学学術院教授 教育学部担当 (平23.4)		
9	その他	准教授	ノムラ ナオ 野村 奈央 <令和8年4月>		Master of Arts (米国) ※		多文化共生論 文化とアイデンティティ【隔年】	1①～② 1・2③～④	1 2	1 1	1 1	埼玉大学学術院准教授 大学院人文社会科学研究科 担当 (平25.4)	
10	その他	准教授	ヨシダ カサジマ リョウコ 小杉 (笹嶋) 亮子 <令和8年4月>		博士 (文学)		社会運動論	1①～②	1	1	1	埼玉大学学術院准教授 大学院人文社会科学研究科 担当 (令3.4)	

11	その他	准教授	クリシマトモアキ 栗島 智明 <令和8年4月>		修士 (法学) ※	平等/差別と法	1③~④	2	1	埼玉大学学術院准教授 大学院人文社会科学研究科 担当 (平31.4)
12	その他	准教授	オグチ チアキ 小口 千明 <令和8年4月>		博士 (理学)	科学技術と人間 防災・災害学とグローバルジャスティス※ ダイバーシティイノベーションI※	1①~② 1③~④ 2①~②	2 0.9 0.4	1 1 1	埼玉大学学術院准教授 大学院理工学研究科担当 (平16.6)
13	その他	講師	スガノ セツコ 菅野 摂子 <令和8年4月>		博士 (社会学)	社会調査法A(社会調査) ダイバーシティイノベーションI※ ダイバーシティイノベーションII	1③~④ 2①~② 2③~④	1 1.6 2	1 1 1	東京科学大学 社会連携・DE&I本部 特任教授 (令7.2)

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学の大学院の研究科の取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る研究科等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

基幹教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修 士	人	人	人	人	1人	1人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	2人	1人	人	人	人	3人	
	修 士	人	人	人	1人	1人	1人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、基幹教員についてのみ作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
- 4 「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合、「専任教員」と読み替えること。
- 5 専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。